

令和2年度事業報告書

令和2年8月1日から令和3年7月31日まで

(法人の名称：特定非営利活動法人クリオン虹の基金)

1 事業の成果

以下の事業を実施した。

(1) 日本国内において、ハンセン病問題や人権問題の啓発活動を行った。

コロナ禍により、対面での啓蒙活動が困難となったため、YouTubeで伊波理事長のインタビューを連続シリーズ「人間復権のための旅路」として公開することとした。

(<https://rainbow-culion.net/ihahistory/>)

(2) ハンセン病問題の啓蒙活動として、高校 (1) 各種団体等 (2) 合計3回の啓発講演をオンラインで行った。具体的な実施対象については、3を参照のこと。

(3) フィリピン共和国の医学生や地域医療関係者、有機農業関係者への支援は、現地の奨学金制度の拡充や、コロナ感染拡大により十分な調整が出来なかったことから実施されなかった。今後の支援の在り方について関係者と協議を始めている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
(1) この法人の目的に賛同する個人・団体等から寄せられた浄財を、サンバリ財団に寄付することにより、フィリピン共和国国内の地域医療を志す学生や地域医療に取り組む医療関係者を支援する事業及び有機農業により地域社会を支える人材を育成し支援する事業	*ホームページを通じてハンセン病問題や人権問題の啓蒙活動を行った。 *学校等からの依頼により、ハンセン病問題への啓発講演を実施した。 *学生や医療関係者の支援、有機農業関係者の支援について、関係者と意見交換した。	(A) 通年 (B) 主たる事務所 (C) 3人	(D) 不特定多数 (E) 不特定多数	113
(2) 日本とフィリピン共和国の地域医療を志す学生や地域医療に取り組む医療関係者及び地域社会を支えるために有機農業に取り組む関係者の交流を深める事業	*本事業年度は、実施しなかった。	—	—	—

3 ハンセン病問題を啓発講演した箇所

伊波理事長による講演

沖縄県立石川高等学校 (2021年1月16日)、ハンセン病市民学会in長野オンラインセミナー (2021年1月26日、3月27日)